

# 「抜き打ち」工事着工に抗議!!住民への安全・安心の説明と回答を!!

## 「日米地位協定」に縛られ・・

**防衛省**「可能な限り」に終始

**外務省**「事故・武器携行は、米軍の判断」



・6日、防衛省と交渉する府民の会の代表ら



・6日、防衛省に申し入れる府民の会・戸田昌基事務局長ら

6月6日、「府民の会」は、米軍レーダー基地問題で防衛省・外務省と交渉を行いました。「府民の会」からは、戸田昌基事務局長、辻昌秀総評副議長、西山英利京都市自治労連執行委員、かみね史朗日本共産党府会議員、地元、日本共産党京丹後市市会議員団の平林智江美・橋本まり子議員らが参加。また、日本共産党こくた恵二衆院議員、井上さとし、倉林明子参院議員が臨席しました。当日、米軍レーダー基地の撤去を求める署名を内閣府に6,303筆、国会請願署名として15,936筆、合計22,239筆の署名を提出しました。

防衛省との交渉では、冒頭、戸田事務局長は、近畿防衛局の不誠実な地元説明会と米軍による環境影響調査の実施もないままに米軍基地建設工事を抜き打ち着工したことに抗議し、中止を求めるとともに、基地設置計画の撤回、環境影響評価の実施と全面公表、工事概要と文書による責任ある回答、再度の説明会の実施などを申し入れ、また、米軍基地にかかわる質問事項（前回「府民の会ニュース・28」に掲載）について回答するよう求めました。

外務省では、米軍軍属による事件・事故問題や武器の携行問題についての回答を求めました。

### 防衛省と外務省の回答（要旨）

#### ■防衛省

##### ＜抜き打ち工事着工について＞

2月の日米首脳会談で基地設置が決定されてから、住民説明会など情報提供を「可能な限り」行ってきた。5月27日の工事着工は、「天候、警備など、十分な時間的余裕がないもとでの実施となった」。

##### ＜今後の工事の概要について＞

工事計画の概要、テロ対策、工事車両の明示、通勤・通学時の安全対策など、「可能な限り、伝えたい」との回答に終始。

##### ＜米への環境影響調査の実施と公表について＞

米軍の責任でなされるもの。地域の実情は米軍に伝えてあり、きちんと対応されると思う。

##### ＜現地・府下説明会の実施、文書回答について＞

どういう伝え方かは別だが、可能な限り、お伝えすべきことは伝えたい。

#### ■外務省

##### ＜米軍の事件・事故について＞

勤務時間外の私有車使用について、上官の命令のもとで、また、勤務地から自宅の移動も「公務外」とは一概にいけない。「公務外」の事故は、一報を入れてもらうことになっているが、両者（加害者・被害者）での処理となる。いずれにしても、事案に応じ判断となる。「公務外」については、防衛省とも協力し対応したい。

##### ＜軍属の裁判、武器の携行について＞

平時においては軍法会議で裁かれない。武器の携行は、任務に関わり米軍の判断だ。ケースバイ・ケースで、一概にいけない。

・防衛省は、矢口麻衣・防衛政策局防衛政策課弾道ミサイル防衛班防衛部員ら4名、外務省は永岡和道・北米局日米地位協定室課長補佐ら2名が対応しました。

米軍基地建設を許さない

## 市民大集会

6月23日(金)午後7時半～ 丹後文化会館

講演「隣り合う米兵犯罪の危険」山崎正則さん  
2006年に横須賀基地の米兵に妻を殺害されたその体験を語られます。

●自家用車で分乗し、行こう!!

・発行:米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称:京都に米軍基地いらない府民の会)

連絡先:京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター1号 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149